



2021年3月期 第1四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 中村 知美
2020年8月4日

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

1

本日はお忙しい中、株式会社SUBARU 2021年3月期 第1四半期決算説明会にご参加頂き、ありがとうございます。また、平素は当社の事業活動に対し、多大なご理解・ご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響(4~6月)

影響規模はいずれも前年比

生産

日本(群馬製作所)
4/9~5/1 操業停止
5/11~6/19 1直操業
6/22~ 概ね通常操業

米国(SIA)
3/23~5/8 操業停止
5/11~ 操業再開
6月~ 概ね通常操業



日米合計 約▲17万台の影響 現在は概ね平常化

小売

日本
緊急事態宣言発出を受け、営業時間の短縮等を実施。現在は概ね平常化。

米国
自宅待機令を受けて、店舗営業の一時休止・縮小を実施。現在は概ね平常化。



世界合計 約▲9万台の影響 感染防止に留意して事業継続

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

初めに、新型コロナによる生産・販売への影響についてです。

新型コロナ感染症により、当社グループの生産・販売活動に多大な影響を受けました。

生産については、3月末から6月にかけて、国内の群馬製作所、米国SIAともに、一時操業停止を含む生産調整を行った結果、日米合計で約17万台減の影響となりました。

SIAの調整は、州政府から感染防止のための自宅待機令が出たこと、また、日米ともに部品供給に制約が生じたこと、そして、世界的な需要の急減に対応するためです。

写真はSIAの組み立てラインです。5月以降、このように作業員同士距離が取れない場合は、ビニールでシールドをつくるなどして感染防止を図りながら順次生産活動を再開し、現在は日米ともに概ね平常通りの操業に戻っています。

販売についても同様に、営業活動に支障が生じました。

小売台数は、世界合計で前年に対し9万台減となりました。

写真は、国内販売店の様子です。店舗スタッフがフェイスシールドを着用し、さらにアクリルの衝立をたてて、お客様との接触を最小限にとどめています。

4~6月は事業面で新型コロナの影響を大きく受けましたが、足元では、このように感染防止と事業活動の両立に努めております。また、生産活動が正常化すると共に、徐々にですがお客様の来店も戻りつつあります。

2021年3月期 第1四半期 業績

(単位:億円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	増減	
連結販売台数 (千台)	262.6	133.1	-129.5	
売上収益	8,334	4,570	-3,764	
営業利益	922	-157	-1,079	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	665	-77	-742	
為替レート	US\$	¥111	¥107	-¥3
	EURO	¥125	¥118	-¥7
	CAN\$	¥83	¥77	-¥6

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

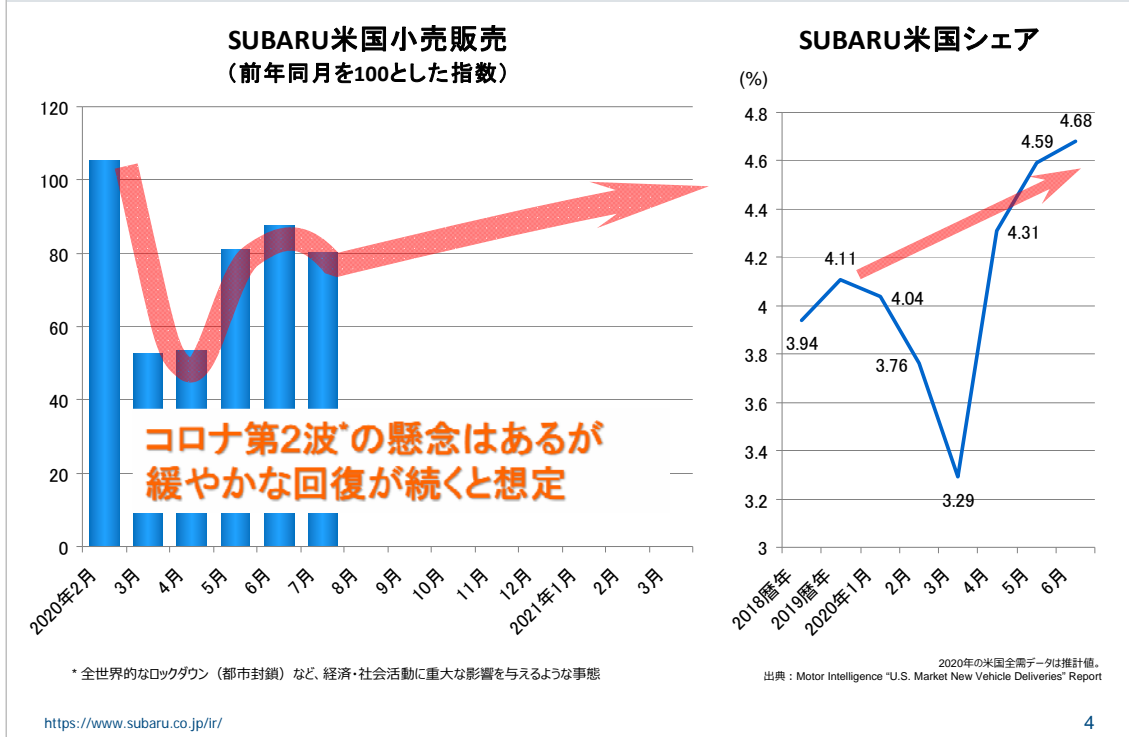
3

このような状況下で、この第1四半期の決算はご覧の結果になりました。
詳細は、後ほどCFOの岡田よりご説明します。

連結販売台数は、前年同期比で約半減の13万3千台、
売上収益は前年同期比で45%減の4,570億円となりました。
その結果、営業損益は前年同期比1,079億円減少して157億円の損失、
当期利益も前年同期比742億円減少して、77億円の損失となりました。

なお、卸売に相当する連結販売台数に比べて、先ほど申し上げた小売販売台数の減少
幅が小さい理由は、当社工場の操業が止まると先ず卸売が影響を受け、一方小売は店頭
在庫でしばらくの間は販売が続けられるためです。

今後の見通し・・・米国販売(小売)



続いて、米国市場の見通しについてです。

これからのコロナ第2波の懸念はぬぐえないものの、3月から4月のような、「全世界的なロックダウン」のような状況は発生しないという前提の下、

当社の世界販売の7割を占める米国市場については、2020年暦年(2020年1月～12月)では、59～60万台(対前年85%)まで持っていきたいと考えています。

そして、2021年も、このイメージ図のように緩やかな回復傾向が続くとみています。

また、米国の全体需要が大きく縮小している中、右のグラフの通り、SUBARUのマーケットシェアは漸増しており、5月6月と過去最高を更新するなど、相対的に健闘しています。

他銘柄ではフリート販売の落ち込みが激しいといわれていますが、SUBARUは元々フリートの比率が低いという強みが、こういう結果になって現れている、と考えています。

2021年3月期 通期計画

(単位:億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減	
連結販売台数 (千台)	1,033.9	900.0	-133.9	
売上収益	33,441	29,000	-4,441	
営業利益	2,103	800	-1,303	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	600	-926	
為替レート	US\$	¥109	¥105	-¥4
	EURO	¥121	¥120	-¥1
	CAN\$	¥82	¥80	-¥2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

続いて通期計画です。

繰り返しになりますが、コロナウイルス感染症の収束時期、経済社会活動に与える影響、消費者心理の動向など、先行きを明確に見通すことは難しいものの、今申し上げた米国市場に加え、日本をはじめとする各国市場の動向を、現時点で可能な範囲で予測し、このように2021年3月期の業績見通しを立てました。

連結販売台数は、前年比12.9%減の90万台を見込みます。

売上収益は、同13.3%減の2兆9,000億円、営業利益は62%減の800億円、当期利益は60.7%減の600億円を計画しています。

以上の通り、販売台数、売上収益、各利益ともに前年比マイナスとなる見通しですが、単なる“予算の積み上げ”ではなく、経営として「ここまではやりたい」という意志も込めて、為替レート:1ドル=105円を前提に、営業利益800億円を計画しております。

また、今回の通期計画は、社内での試算に基づく数字ではありますが、上述の通り、不確定な要素が非常に多く、例年のように市場別の販売計画をご説明し、前年との差異理由の詳細などを精緻に分析・ご説明できるものではないこと、ご理解をいただきますようお願いいたします。

株主還元

【一株当たり配当金】

(単位:円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
第2四半期末	72	72	28
期末	72	28	28
年間合計	144	100	56
配当性向	78.1%	50.3%	71.6%

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

今期の配当予想につきましては、この収益計画に基づき、また、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大による先行き不透明な事業環境および今後の資金需要などを含めて総合的に検討した結果、1株あたりの配当金は、中間28円・期末28円の年間配当金56円と予定させていただきます。

最後になりますが、来る8月20日には待望の新型車であり、国内SUBARUのフラッグシップである新型レヴォーグの先行予約を開始し、今年後半には正式発表・発売の予定です。ぜひ、ご期待ください。

引き続き、感染予防対策をしっかり行い、お客様、従業員とその家族、お取引先など関係者の皆様の安全を最優先にしつつ、通期計画の実現に向けて、全社一丸となって、取り組んでまいります。これからもご支援のほど、よろしくお願い致します。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

続いて、CFOの岡田より、決算の詳細についてご説明申し上げます。



2021年3月期 第1四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 岡田 稔明
2020年8月4日

| 2021年3月期 第1四半期 実績

第1四半期 実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
登録車	27.5	14.3	-13.2
軽自動車	5.8	4.3	-1.5
国内合計	33.3	18.6	-14.7
米国	179.3	91.1	-88.3
カナダ	15.6	6.3	-9.3
ロシア	2.2	0.2	-2.0
欧州	5.9	3.2	-2.7
豪州	11.7	4.9	-6.8
中国	5.7	6.0	+0.2
その他	8.8	2.9	-6.0
海外合計	229.3	114.5	-114.8
合計	262.6	133.1	-129.5

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

第1四半期の実績よりご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多大な影響を受けた結果となりました。

初めに、連結販売台数についてです。

海外市場は、前年同期比11万4千8百台の減となる11万4千5百台

国内市場は、前年同期比1万4千7百台の減となる1万8千6百台となりました。

合計では、ほぼ半減の12万9千5百台の減となる13万3千1百台となりました。

第1四半期 実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
連結完成車 販売台数 合計	262.6	133.1	-129.5

(千台)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
米国生産	101.9	36.3	-65.6
国内生産	160.0	55.9	-104.1
合計	261.9	92.2	-169.6

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続きまして、生産台数についてご説明します。

米国生産拠点のSIAでは3月23日から、
国内の群馬製作所では4月9日から生産活動を一時停止しました。

日米ともに5月11日から操業を再開しましたが、
サプライチェーン及び各市場における販売活動への影響が続いたことから、
SIAでは5月末まで、国内では6月19日まで生産調整を実施した結果、
生産台数の合計は、前年同期比で16万9千6百台の減となる9万2千2百台となりました。

第1四半期実績 連結業績

(億円)

		2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
売上収益		8,334	4,570	-3,764
国内		1,423	947	-476
海外		6,912	3,623	-3,288
営業利益		922	-157	-1,079
税引前利益		893	-107	-1,001
親会社の所有者に帰属する				
当期利益		665	-77	-742
為替レート	US\$	¥111	¥107	-¥3
	EURO	¥125	¥118	-¥7
	CAN\$	¥83	¥77	-¥6

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次に、連結業績についてです。

売上収益は、

自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化 -3,502億円を主因とし、前年同期比3,764億円の減収となる4,570億円となりました。

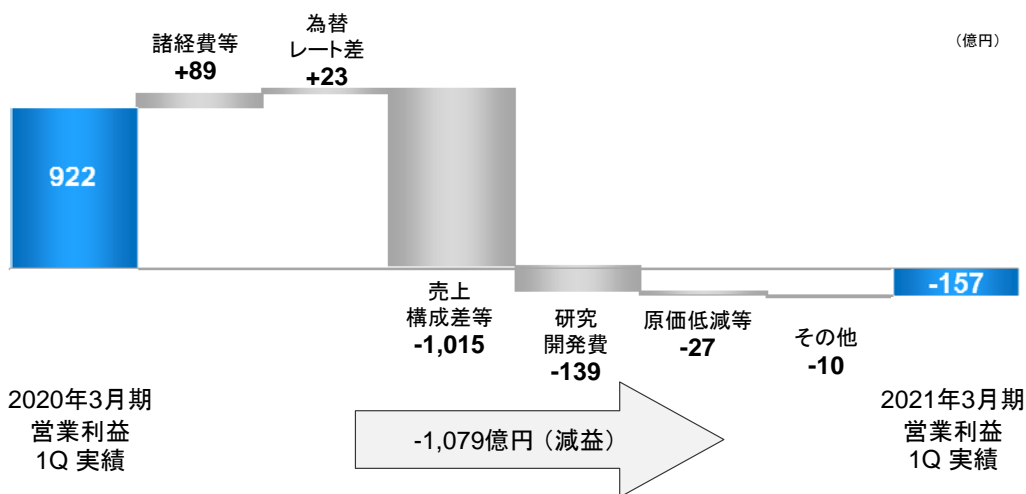
営業利益につきましても、

自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化を主因とし、前年同期比1,079億円の減益となる157億円の損失となりました。

また、税引前利益は、1,001億円の減益となる107億円の損失、

親会社の所有者に帰属する当期利益は、742億円の減益となる77億円の損失となりました。

前年実績対比
第1四半期 実績 営業利益増減要因



諸経費等 内訳 89				為替影響 23		売上構成差等 -1,015		原価低減等 -27					
製造固定費	20	販管費	131	保証修理費	-62	US \$	-26	新車国内	-125	SUBARU	8	SIA	-35
SUBARU	33	SIA	-13	SUBARU	43	EURO	-3	新車海外	-1,295	原価低減	10	原価低減	3
外製型費	1	外製型費	-15	国内ディーラー	23	CAN \$	-6	販売奨励金	210	原材料・市況等	-2	原材料・市況等	-38
固定加工費	32	固定加工費	2	SOA (*1)	40	中国元	-1	その他	195				
		SCI (*2)	9	その他	16	仕入為替調整	27						
						未実現利益分	32						

*1 SOA: Subaru of America Inc.
*2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、売上構成差等が大きな減益要因となりました。

販売奨励金の減少に加え、在庫が大幅に減少したことによる未実現利益調整があり、この2点が増益方向の要因となったものの、新車販売、部品、中古車、フリート等の減少による影響が非常に大きく、売上構成差等で-1,015億円の大きな減益要因となりました。

尚、米国の販売奨励金については、前年同期の1,750ドルから150ドル減となる台あたり1,600ドルとなり、奨励金総額として185億円の削減となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
設備投資 (*1)	357	154	-203
減価償却費 (*1)	221	230	+9
研究開発支出 (*2)	245	254	+9

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

第1四半期 実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
営業活動CF	1,367	-796	-2,163
投資活動CF	-279	-364	-85
フリーCF	1,088	-1,160	-2,247
財務活動CF	-617	1,817	+2,435
為替変動の影響額	-155	-38	+117
現金及び現金同等物の増減	315	620	+305
現金及び現金同等物 期末残高	7,339	9,210	+1,871
有利子負債 期末残高 (*)	1,070	4,483	+3,413
ネットキャッシュ	6,268	4,726	-1,542

* リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

続いて、キャッシュフローです。

フリーキャッシュフローは-1,160億円となりました。

主な要因は、営業債務及びその他の債務の減少1,414億円や、税引前損失107億円等による営業活動による資金の減少796億円等です。

財務活動による資金の増加は1,817億円となりました。

前回決算発表でご説明しました、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を見据えた手元流動性の確保に基づき、2020年4月21日から5月末にかけて借入れによる資金調達を実施しました。

これらの結果、期末の現金及び現金同等物残高は9,210億円、有利子負債残高は4,483億円となり、ネットキャッシュは、前年同期比1,542億円減少の4,726億円となりました。

| 2021年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数 / 連結業績

	(千台)		
	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減
連結完成車 販売台数 合計	1,033.9	900.0	-133.9
生産台数 合計	1,030.9	880.0	-150.9

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

	(億円)			
	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減	
売上収益	33,441	29,000	-4,441	
営業利益	2,103	800	-1,303	
税引前利益	2,077	870	-1,207	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	600	-926	
為替レート	US\$	¥109	¥105	-¥4
	EURO	¥121	¥120	-¥1
	CAN\$	¥82	¥80	-¥2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

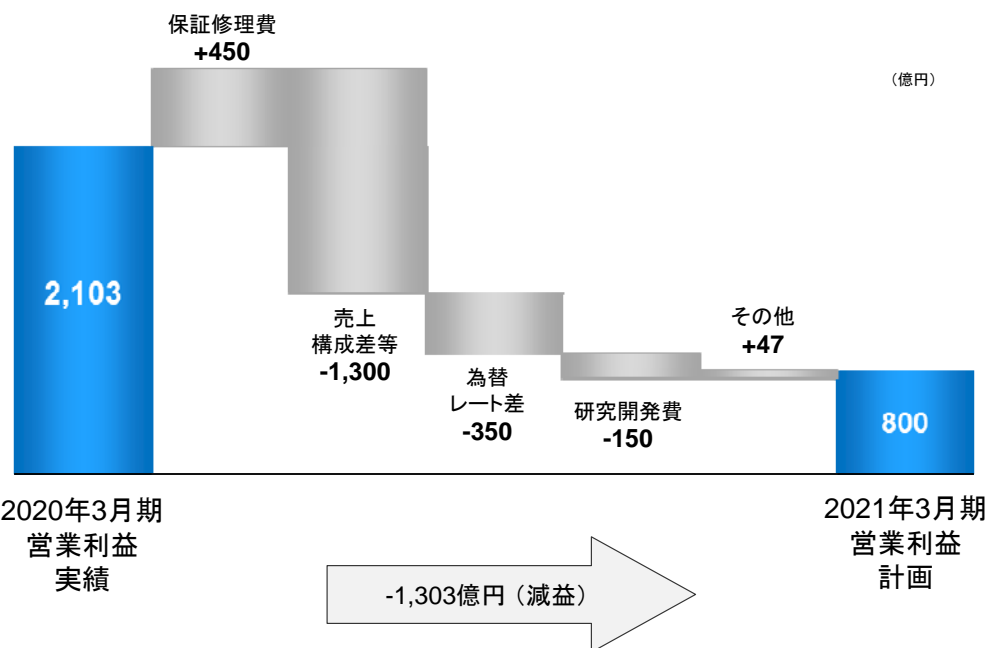
次に、2021年3月期 見通しについてです。

依然として不確実な要素が多い環境にありますが、現時点での情報を基に算定しました。
当社主力の米国市場を中心に、自動車販売が一定水準まで回復するという前提で、

- ・連結販売台数90万台
- ・生産台数88万台
- ・売上収益2兆9千億円
- ・営業利益800億円
- ・親会社の所有者に帰属する当期利益 600億円

を計画しています。

前年実績対比
通期計画 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

増益要因は、

市場措置費用を含む保証修理費の減少で、450億円の改善となる見通しです。

減益要因は、売上構成差等の悪化と為替レート差ならびに研究開発費の増加です。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を主因とし、売上構成差等が大きく悪化する見通しです。

為替レート差は、USD約4円、カナダドル約2円、ユーロ約1円の円高を見込み、350億円の悪化。

研究開発費の増加で150億円の悪化となる見通しです。

当年度は、前年に対し計上する研究開発支出が減少することに加え、過去に計上した資産の償却額が増加することによるものです。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減
設備投資 (*1)	1,260	1,000	-260
減価償却費 (*1)	961	1,000	+39
研究開発支出 (*2)	1,187	1,000	-187

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・見通しに含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しております。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

最後に、設備投資、減価償却費、研究開発支出の通期計画です。

設備投資は、260億円の減となる1,000億円、
減価償却費は、39億円の増となる1,000億円、
研究開発支出も、187億円の減となる1,000億円を計画しています。

設備投資ならびに研究開発支出に関しては、必要な投資・研究開発活動を継続して進めていく一方で、コロナ禍での経営環境を踏まえた不要不急案件の精査ならびに抑制を行い、効率化を図りながら取り組んでいく考えです。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2021年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上収益
- ・連結財政状態計算書
- ・単独販売台数
- ・米国子会社業績
- ・生産台数 / 小売台数 推移

第1四半期 実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
自動車	7,960	4,371	-3,589	878	-141	-1,019
航空宇宙	355	187	-168	29	-28	-57
その他	20	12	-8	15	13	-2
消去・全社				0	-0	-1
合計	8,334	4,570	-3,764	922	-157	-1,079

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

第1四半期 実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
日本	2,193	1,220	-973	701	-436	-1,137
北米	5,789	3,066	-2,723	234	-102	-336
その他	353	284	-69	8	10	+2
消去・全社				-20	372	+393
合計	8,334	4,570	-3,764	922	-157	-1,079

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

第1四半期 実績 連結海外売上収益

(億円)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
北米	6,060	3,166	-2,894
欧州	205	100	-105
アジア	291	216	-76
その他	356	141	-214
合計	6,912	3,623	-3,288

連結財政状態計算書

(億円)

	2020年3月末	2020年6月末	増減
資産合計	32,939	32,516	-424
流動資産	19,788	19,632	-156
非流動資産	13,151	12,884	-268
負債合計	15,738	15,634	-104
有利子負債	2,392	4,483	+2,091
資本合計	17,201	16,882	-320
利益剰余金	13,972	13,681	-292
親会社の所有者に帰属する持分	17,129	16,808	-321
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.0%	51.7%	-
D/Eレシオ	0.14	0.27	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24

第1四半期 実績 単独販売台数

(千台)

	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	160.0	55.9	-104.1
国内売上	31.2	17.5	-13.7
登録車	25.3	13.1	-12.2
軽自動車	5.9	4.3	-1.6
輸出台数	132.3	45.1	-87.3
海外生産用部品	88.0	32.6	-55.4
単独売上合計	251.5	95.1	-156.4

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

第1四半期 実績 米国子会社業績

(Million US\$)

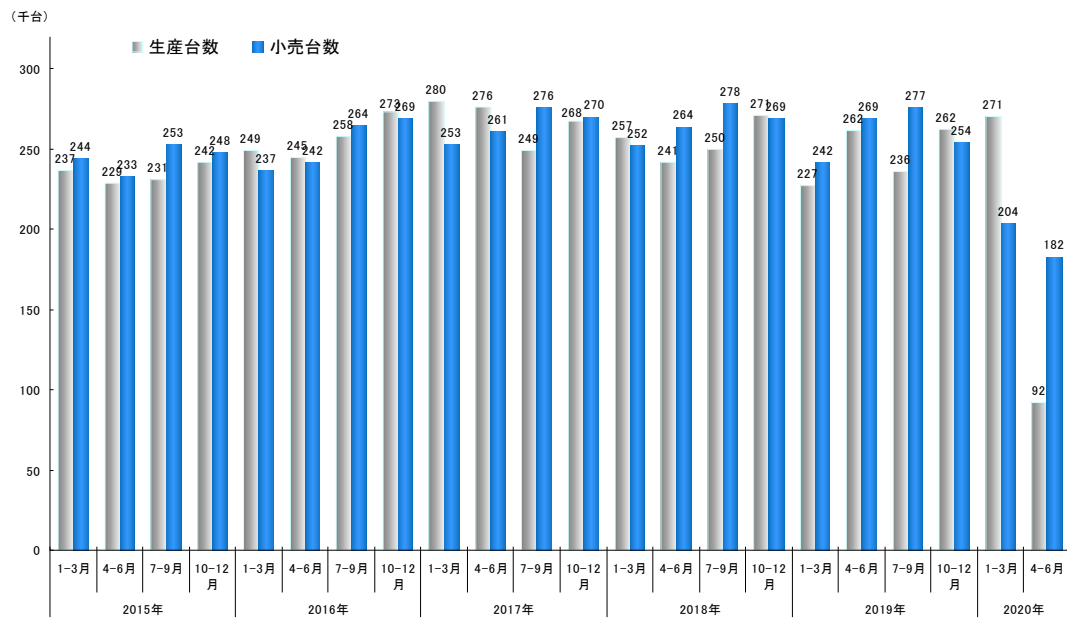
SOA	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
売上高	4,947	2,713	-2,234
営業利益	160	70	-90
当期純利益	126	90	-35
小売販売台数(千台)	182.2	136.1	-46.1

SIA	2020年3月期 1Q 実績	2021年3月期 1Q 実績	増減
売上高	2,428	929	-1,499
営業利益	67	-151	-218
当期純利益	54	-115	-169
生産台数(千台)	101.9	36.3	-65.6

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

生産台数 / 小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

27



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみ全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>